

はつたつしょうがい ふく しょうがい ようじ じどうせいと しえん ようちえん  
発達障害を含む障害のある幼児児童生徒への支援のため、幼稚園・  
しょうがっこう ちゅうがっこう こうとうがっこうとう こうない いんかい せつち とくべつ しえんきょう  
小学校・中学校・高等学校等において校内委員会の設置や特別支援教  
いく  
育コーディネーターの指名などの支援体制を整備する。特に幼稚園、  
こうとうがっこう じゅうてんてき せいび  
高等学校を重点的に整備する。

すう ち もくひょう たつせい き かん  
(数値目標・達成期間)

こうない いんかい せつち  
○校内委員会の設置

ようちえん こうりつ  
・幼稚園(公立)

32.7% [18年] → 70% [24年]

こうとうがっこう こうりつ  
・高等学校(公立)

25.2% [18年] → 70% [24年]

とくべつ しえんきょういく しめい  
○特別支援教育コーディネーターの指名

ようちえん こうりつ  
・幼稚園(公立)

29.4% [18年] → 70% [24年]

こうとうがっこう こうりつ  
・高等学校(公立)

18.5% [18年] → 70% [24年]

せんもん き かん き のう じゅうじつ た よう か  
②専門機関の機能の充実と多様化

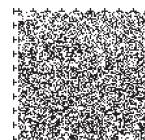
とくべつ しえんがっこう しょう ちゅうがっこうとう たい しえん すいしん  
○特別支援学校の小・中学校等に対する支援の推進

ようちえん しょうがっこう ちゅうがっこうおよ こうとうがっこうとう きょういん しえん しょうがい  
幼稚園・小学校・中学校及び高等学校等の教員への支援、障害の

ある幼児児童生徒への指導・支援、特別支援教育に関する相談・情報

ていきょう かんけい き かん れんらく ちょうせいとう とくべつ しえんがっこう しょう ちゅうがっこうとう  
提供、関係機関との連絡・調整等、特別支援学校の小・中学校等に

たい しえん すいしん  
対する支援を推進する。



### ③指導力の向上と研究の推進

#### ○特別支援学校教諭免許保有率の向上

特別支援学校において、教員の特別支援学校教諭免許状の保有率向上を図る。

#### (数値目標・達成期間)

#### ○特別支援学校教諭免許保有率向上を中期計画（5年以

内）等に位置付ける都道府県の割合

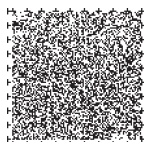
32都道府県〔18年度〕→全都道府県〔24年〕

#### ○特別支援教育に関する教員研修の促進

特別支援教育に携わるすべての教員の専門性を向上させるため、都道府県の講習や校内研修の促進を図る。各種指導者養成研修など、都道府県の指導者に対する研修を推進する。

#### ○障害に関する外部専門家の学校における活用

発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対し適切な支援を行うため、専門的知識・経験を有する外部専門家が教員に適切な指導・助言を行えるよう、外部専門家の活用を促進する。



こくりつとくべつ し えんきょういく そうごうけんきゅうじょ きょういくげん ば  
○国立特別支援教育総合研究所における教育現場のニーズ

ふ じゅうてんてき けんきゅう けんしゅう じっし きょういくじょうほう ていきょう  
を踏まえた重点的な研究や研修の実施、教育情報の提供

どくりつぎょうせいほうじんこくりつとくべつ し えんきょういく そうごうけんきゅうじょ わ くにゆいいつ とくべつ  
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所は、我が国唯一の特別

し えんきょういく くに きつぎん かだい きょう  
支援教育のナショナルセンターであることから、国の喫緊の課題や教

いくげん ば ふ けんきゅう けんしゅう じゅうてんてき じっし とく  
育現場のニーズを踏まえ研究や研修を重点的に実施するとともに、特

あら かだい はったつしょうがい ふく きょういくじょうほう ていきょう おこな  
に新たな課題となっている発達障害を含めた教育情報の提供を行う。

しゃかいてきおよ しょくぎょうてき じりつ そくしん  
④社会的及び職業的自立の促進

とくべつ し えんがっこう かんけいき かんとう れんけい きょうりよく げん ば じっしゅう  
○特別支援学校と関係機関等の連携・協力による、現場実習

さき かいたく あら しょくいき かいたく  
先の開拓・新たな職域の開拓

とくべつ し えんがっこうそつぎょうご しょくぎょうてき じりつ すいしん とくべつ し えんがっ  
特別支援学校卒業後の職業的自立を推進するため、特別支援学

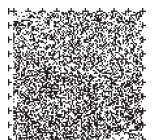
こう きょういく いんかい ろうどうかんけいき かん きぎょうとう きんみつ れんけい きょうりよく もと げん  
校・教育委員会、労働関係機関、企業等の緊密な連携・協力の下、現

ば じっしゅうさき かいたく あら しょくいき かいたく はか  
場実習先の開拓や新たな職域の開拓を図る。

しょうがいしゃ しょくぎょう じりつ たい り かいけいはつ そくしん  
○障害者の職業自立に対する理解啓発の促進

しょうがい せいとおよ ほ ごしゃとう たい しょうがいしゃ いっばん こよう こよう  
障害のある生徒及びその保護者等に対し、障害者の一般雇用や雇用

し えんさく かん り かい そくしん はか  
支援策に関する理解の促進を図る。



## ○特別支援学校高等部と連携した効果的な職業訓練の実施

卒業後の就職先が内定していない就職希望者に対し、より早い段階で職業訓練を活用することにより職業能力の向上を図り、就労に向けた切れ目のない支援を実施する。

## ○障害学生の支援の充実

ア 独立行政法人日本学生支援機構が行う「障害学生就学支援ネット

ワーク」(全国の大学や関係機関がネットワークを作り、障害学生

就学支援制度の整備を目指す。)等の事業を推進することにより、

障害のある学生が学びやすい環境をつくる。

イ 「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」において

採択されたプログラム(障害学生支援関係を含む。)について、財政

支援を行うとともに、今後、広く社会に情報提供することで、各大

学等における学生支援機能の充実を図る。

ウ 大学入試に関し、障害者の受験機会等を確保する観点から、障害

の種類に応じた配慮(試験時間の延長、点字・拡大文字による出題、

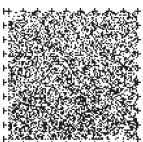
介助者の付与等)を行うことを各大学に要請する。

## ○放送大学における視聴者のニーズに応じた多様な字幕番組

### の制作

聴覚障害のある学生等からの要望を受け、希望の多いテレビ番組に

ついて字幕を制作し、字幕付与番組として放送する。



## ⑤<sup>し せつ</sup>施設の<sup>か</sup>バリアフリー化の<sup>そくしん</sup>促進

### ○<sup>とくべつ し えんきょういく かか し せつせい び けいかくさくてい じ れい しゅう ち</sup>特別支援教育に係る施設整備計画策定事例の周知

<sup>とくべつ し えんきょういく かか し せつ けいかくてき せい び とくべつ し えんがっこう</sup>  
特別支援教育に係る施設の計画的な整備のため、特別支援学校や

<sup>しょう ちゅうがっこうとう ぐ たいてき せい び けいかく じ れい と かくと どう ふ けんとう</sup>  
小・中学校等の具体的な整備計画の事例を取りまとめ、各都道府県等

<sup>しゅう ち はか</sup>  
への周知を図る。

